



## 平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年1月31日

上場会社名 ソーシャルワイヤー株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 3929 URL http://www.socialwire.net/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 矢田 峰之  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役社長室長 (氏名) 藤原 直美 TEL 03-5363-4872  
 四半期報告書提出予定日 平成29年1月31日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績（平成28年4月1日～平成28年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	1,773	23.3	156	△12.1	143	△13.0	85	△25.7
28年3月期第3四半期	1,437	—	178	—	165	—	114	—

(注) 包括利益 29年3月期第3四半期 40百万円 (△57.3%) 28年3月期第3四半期 95百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	31.78	28.77
28年3月期第3四半期	48.60	41.12

(注) 1. 当社は、平成28年3月期第2四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成28年3月期第3四半期における対前年同四半期増減率は記載しておりません。  
 2. 当社は、平成27年8月14日開催の取締役会決議により、平成27年9月5日付で普通株式1株につき100株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり純資産を算定しております。

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第3四半期	2,194	801	35.4	290.89
28年3月期	1,836	806	43.1	302.37

(参考) 自己資本 29年3月期第3四半期 778百万円 28年3月期 793百万円

(注) 当社は、平成27年8月14日開催の取締役会決議により、平成27年9月5日付で普通株式1株につき100株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり純資産を算定しております。

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	15.00	15.00
29年3月期	—	0.00	—		
29年3月期（予想）				18.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

配当予想の内訳を修正しております。詳細は、本日（平成29年1月31日）公表いたしました「業績予想の修正及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

29年3月期（予想）期末配当金の内訳 普通配当16円00銭 記念配当 2円00銭

### 3. 平成29年3月期の連結業績予想（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,406	23.1	210	△7.0	200	△4.7	120	△18.3	47.13

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

連結業績予想の修正については、本日（平成29年1月31日）公表いたしました「業績予想の修正及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）一、除外 一社（社名）一

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 4「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年3月期3Q	2,715,600株	28年3月期	2,622,600株
② 期末自己株式数	29年3月期3Q	38,400株	28年3月期	一株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年3月期3Q	2,691,927株	28年3月期3Q	2,360,236株

(注) 当社は、平成27年8月14日開催の取締役会決議により、平成27年9月5日付で普通株式1株につき100株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、発行済株式数（普通株式）を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ではありますが、この四半期決算短信開示時において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等 .....	3
4. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書 .....	6
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書 .....	7
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、海外の景気減速による下振れリスク及び円高の進行による企業収益の減少等が懸念されるものの、政府及び日銀による各種政策の効果もあり、緩やかな景気回復傾向で推移しております。

このような市場環境のもと、当社グループは「アジアBP0プラットフォームの構築」をビジョンとし、既存事業の拡大・売上高の最大化に注力し、足元の業績を成長させてまいりました。また、新規事業としてクラウドソーシング形式による翻訳事業・マッチング事業を運営するトランススマート株式会社を子会社化し、新たな事業の軸にすべく積極的に取り組んでおります。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高は1,773,589千円（前年同期比23.3%増）、営業利益156,568千円（前年同期比12.1%減）、経常利益143,963千円（前年同期比13.0%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益85,161千円（前年同期比25.7%減）となりました。なお、当第3四半期連結累計期間にフランチャイズ企業との協業体制の一環として設備投資等の資金貸付の一部について回収可能性を検討した結果、貸倒引当金繰入額13,424千円を特別損失として計上しております。

各セグメント別の業績は、以下のとおりであります。なお、以下の数値はセグメント間の取引消去後となっております。

#### (ニュースワイヤー事業)

ニュースワイヤー事業は、企業や官公庁・団体等に対して、製品やサービス、事業等に関するプレスリリース文書の校正や配信メディアの選定から、リリース配信、掲載結果の調査・報告を実施しております。

プレスリリース配信代行サービス「@Press」については従量配信数が増加（前年同期比18.7%増）し、単価についてはほぼ横ばいとなりました。メディアクリッピングサービス「@クリッピング」については案件数は増加（前年同期比5.1%増）し、単価についてはほぼ横ばいとなりました。

この結果、ニュースワイヤー事業の売上高は874,466千円（前年同期比14.0%増）となり、セグメント利益は232,469千円（前年同期比2.2%減）となりました。

#### (インキュベーション事業)

インキュベーション事業は、アジア7ヶ国（新宿2拠点、六本木、青山、仙台、シンガポール、インドネシア（※）、インド、ベトナム、フィリピン、タイ）でレンタルオフィス「CROSSCOOP」を運営しております。

当第3四半期連結累計期間においては、仙台拠点を新規開設し、新宿拠点を増床を行いました。これにより国内稼働席が大幅に増加（前年同期比28.2%増）し、海外稼働席はほぼ横ばい（前年同期比2.4%増）となりました。また、単価については国内は微増したものの、為替の影響により海外単価が減少したため、全拠点単価は微減となりました。

この結果、インキュベーション事業の売上高は753,724千円（前年同期比12.4%増）となり、セグメント利益は67,321千円（前年同期比14.3%増）となりました。

（※）インドネシアはフランチャイズによる運営です。

#### (その他)

各報告セグメントに属さないトランススマート株式会社の翻訳事業・マッチング事業については新規事業として取り組んでおり、現状は「その他」の区分としております。

当第3四半期連結累計期間については、クラウドソーシング翻訳サービス「TRANSMART」をサービスリニューアルし、既存ビジネスの更なる拡販や新規顧客獲得を行ってまいりました。

この結果、その他の売上高は145,399千円となり、セグメント損失は6,146千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産の額は2,194,214千円と、前連結会計年度末に比べ358,060千円の増加となりました。資産の増加の主な原因は、差入保証金が192,461千円、建物が135,139千円、ソフトウェアが56,129千円増加したことによるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債の額は1,392,778千円と、前連結会計年度末に比べ362,759千円の増加となりました。負債の増加の主な原因は、長期借入金（1年内返済予定の長期借入金を含む。）が210,855千円増加、前受金が96,481千円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産の額は801,436千円と、前連結会計年度末に比べ4,699千円の減少となりました。純資産の増減の主な要因は、新株予約権の行使により資本金及び資本剰余金がそれぞれ11,625千円、親会社株主に帰属する四半期純利益85,161千円の計上による増加があった一方で、配当金の支払により39,339千円及び自己株式の取得により44,976千円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年4月28日に公表しました通期の連結業績予想数値につきましては、本日（平成29年1月31日）公表の「業績予想の修正及び配当予想の修正に関するお知らせ」にて修正いたしました。詳細につきましては本日発表の「業績予想の修正及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当していませんが、第1四半期連結会計期間において、当社がトランススマート株式会社を子会社したことに伴い、同社を連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益への影響は軽微であります。

(追加情報)

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	520,871	464,281
受取手形及び売掛金	127,354	174,405
その他	120,900	125,012
貸倒引当金	△3,842	△5,483
流動資産合計	765,283	758,215
固定資産		
有形固定資産		
建物	468,832	603,972
工具、器具及び備品	154,252	194,440
その他	10,071	9,351
減価償却累計額	△192,818	△251,535
有形固定資産合計	440,337	556,228
無形固定資産		
のれん	16,211	45,727
ソフトウェア	120,721	176,850
その他	66,223	33,733
無形固定資産合計	203,156	256,311
投資その他の資産		
差入保証金	356,225	548,687
その他	71,151	99,947
貸倒引当金	—	△25,175
投資その他の資産合計	427,377	623,459
固定資産合計	1,070,870	1,435,999
資産合計	1,836,154	2,194,214

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
1年内償還予定の社債	20,000	—
1年内返済予定の長期借入金	130,020	193,709
未払金	111,139	172,793
未払法人税等	38,471	26,175
前受金	268,923	365,404
その他	126,675	134,685
流動負債合計	695,229	892,768
固定負債		
長期借入金	303,367	450,533
資産除去債務	27,665	46,197
その他	3,756	3,278
固定負債合計	334,789	500,009
負債合計	1,030,018	1,392,778
純資産の部		
株主資本		
資本金	289,310	300,935
資本剰余金	231,310	242,935
利益剰余金	241,687	287,509
自己株式	—	△44,976
株主資本合計	762,307	786,403
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	30,698	△8,211
その他の包括利益累計額合計	30,698	△8,211
新株予約権	—	593
非支配株主持分	13,130	22,651
純資産合計	806,135	801,436
負債純資産合計	1,836,154	2,194,214

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
売上高	1,437,398	1,773,589
売上原価	647,239	833,733
売上総利益	790,158	939,856
販売費及び一般管理費	612,027	783,287
営業利益	178,130	156,568
営業外収益		
受取利息	1,372	1,256
為替差益	2,147	—
その他	2,581	1,627
営業外収益合計	6,101	2,884
営業外費用		
支払利息	6,725	5,792
支払手数料	2,400	515
株式交付費	8,824	—
為替差損	—	8,221
その他	730	960
営業外費用合計	18,680	15,489
経常利益	165,551	143,963
特別利益		
負ののれん発生益	—	2,760
特別利益合計	—	2,760
特別損失		
貸倒引当金繰入額	—	13,424
特別損失合計	—	13,424
税金等調整前四半期純利益	165,551	133,299
法人税、住民税及び事業税	45,754	48,359
法人税等調整額	3,891	2,477
法人税等合計	49,646	50,837
四半期純利益	115,904	82,462
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	1,203	△2,698
親会社株主に帰属する四半期純利益	114,701	85,161



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)
四半期純利益	115,904	82,462
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△20,102	△41,618
その他の包括利益合計	△20,102	△41,618
四半期包括利益	95,801	40,844
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	95,498	46,251
非支配株主に係る四半期包括利益	303	△5,406

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		計	調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額
	ニュースワイヤー 事業	インキュベーション 事業			
売上高	766,947	670,451	1,437,398	—	1,437,398
セグメント利益	237,822	58,874	296,697	△118,566	178,130

(注) 1. セグメント利益の調整額△118,566千円は、主に報告セグメントに帰属していない一般管理費等の全社費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 3
	ニュースワイヤー 事業	インキュベーション 事業	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	874,466	753,724	1,628,190	145,399	1,773,589	—	1,773,589
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	591	591	△591	—
計	874,466	753,724	1,628,190	145,991	1,774,181	△591	1,773,589
セグメント利益 又は損失(△)	232,469	67,321	299,791	△6,146	293,644	△137,076	156,568

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、新規事業として取り組んでいる翻訳事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△137,076千円は、主に報告セグメントに帰属していない一般管理費等の全社費用であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。